



校長室だより やる気みなぎる『楽しい』学校



きまがせ

令和6年12月4日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

「心地よい走り」「自分に合ったペースで」笑顔でゴール！！

11月30日（土）の校内持久走記録会で、見事、自分で設定した目標タイムに±10秒以内の記録で走り切った児童は、全校で44名でした。自分が心地よいと感じるペースを掴み、それを維持して走り続けることは、とても難しいことです。思っていた以上に、目標設定を的確に行って、記録会に臨んでいる児童が多くいて、嬉しく思いました。

11月8日の校長室だよりでも書きましたが、持久走=きつだけの運動という印象を払拭し、「運動に親しむこと」「自己の課題をもち楽しく運動を行うこと」を第一に考えて走り切る、そんな記録会を、今年を目指しました。

ゴール前の最後の直線に入るところで、私は、「いい顔で、笑顔でゴールしよう！！」「ナイスラン！」という声を掛け続けました。その瞬間に、パッと笑顔になる子どもたちの様子が多く見られました。本日、児童が持ち帰った「記録証」を見ながら、今年の持久走への取組について、是非ご家庭で振り返ってみてください。



実は、校内記録会の翌日、記録会での児童の皆さんの頑張りに元気をもらって、とある場所で開催された市民マラソン大会に参加しました。自分が気持ちよく感じるくらいのペースで、3kmを走りました。学生時代は持久走が「きつくて嫌だ！」と思っていた私ですが、快晴の下、そよ風も心地よく、ゴールした後に「楽しかった！！」と心から言えたことに自分でも驚きました。ゴール付近で実況アナウンスをしていた方が、「今日、この会場に集まって、元気に走っていること、それだけで素晴らしい！！」「みんな、ゴールの時は笑顔で！！」と連呼していたのも印象的でした。

とは言っても、例えば、持久走記録会で順位にこだわりたい、一秒でもよい記録を出したい、と思って、練習を積んで、結果を求めて走りたい児童が一定数いることも事実です。今年度の実施を踏まえて、来年度の持久走の取組については、よりよい形を目指し、検討していく必要性を感じているところです。

児童の走路安全のためにご協力いただいたPTA役員の皆様、ありがとうございました。

